

商工会連合会報

第491号

平成25年1月1日

(昭和45年12月3日 第3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)
○購読料・1部10円(会費に含む)／各奇数月1日発行

地域経済活性化秋田県商工会大会

～商工会^{ちから}で企業と地域の未来支援～



開会挨拶を行う村岡県連会長



来賓挨拶を行う橋口県副知事



11月5日、秋田市で「地域経済活性化秋田県商工会大会」が開催されました。大会では、中小企業の危機的状況を踏まえ、国・県に対し政策要望するとともに、商工会が果たしている地域の役割に理解を求めました。

シリーズ秋田の偉人たち vol.23

【下田 菊太郎】 (しもだ きくたろう)
仙北市(旧角館町)出身 <1866年～1931年>

異才の建築家

バーナムに師事。日本人のアメリカ建築家免許第1号。鉄骨・鉄筋コンクリート造の最新アメリカ建築法を日本に初紹介。欧風一辺倒の日本建築界に抗し、欧米風の躯体に和風の屋根を載せた帝冠式による近代建築を主唱。



画像提供：秋田県立博物館

CONTENTS

- 地域経済活性化秋田県商工会大会……………p1
- 年頭のごあいさつ……………p2
- 移動県連開催……………p4
- 商工会長並びに商工会役員セミナー
- 地域経済活性化秋田県商工会大会
- 第52回商工会全国大会
- 平成24年度秋の叙勲……………p5
- 新商工会長の横顔
- 秋田県知事との懇談会を開催
- 第52回商工会全国大会表彰
- 県内商工会の地域貢献事業紹介……………p6
- 商工会新会員紹介コーナー……………p7
- 知ってる？
- おらほのまの人……………p8
- 「創業塾」開講 受講生募集！



年頭のごあいさつ

秋田県商工会連合会

会長 村岡 淑郎

会員の皆様、新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春
をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、わが国経済は、長期にわたるデフ
レや円高に加え、世界景気の減速等を背景
に弱い動きが続いており、昨年末には、さ
らなる景気の後退の可能性が高いとの判断
も示されました。

今後は、消費増税や原発・電力問題、中
国との関係悪化をはじめとした国際関係や
TPPへの対応など、たくさんの懸念材料
が待ち受けています。

地域の中小・小規模企業においても、少
子高齢化、人口減少による地域経済の縮小
が大きな影響を及ぼしているほか、製造業
の業況の悪化による生産拠点の再編等が行
われ、雇用環境も大変厳しくなっています。

加えて、中小企業金融円滑化法が今年三
月で最終期限を迎えることによる資金繰り
への影響も憂慮されるなど、今後の先行き
も非常に不透明なものとなっております。

このような中で、商工会連合会と県内21
商工会は、「商工会力（ぢから）」で企業と
地域の未来支援」をスローガンに、商工会
の機能強化と地域への貢献を更に進めると

ともに、中小・小規模企業者に対する税制
や事業承継を円滑に行うための制度改正な
どについて、関係機関への要望活動を強力
に行ってまいります。

大変に厳しい経済環境ではありますが、
今年度は、JRの「デステイネーションキャ
ンペーン」が本番を迎えるほか、来年には
「国民文化祭」が本県で開催されるなど、
秋田県を全国的にPRする機会がやってま
いります。ぜひ、このようなチャンスを活
かして、本県の持つ魅力を広くアピールす
るとともに、「おもてなし」のレベルアッ
プを図りたいものです。

また、風力発電、太陽光発電、シエール
オイル採取などの新たなエネルギーに関連
した産業への期待など、明るい材料も出て
まいりました。

皆様、中小・小規模企業の多様性を活
かした新たな飛躍をされますよう、県連合
会は組織の力を結集して事業運営にあたっ
てまいりますので、会員各位の一層のご理
解、ご協力を賜りますようよろしくお願い
申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝とご繁栄を心
からお祈り申し上げ、新年のあいさつとい
たします。



新年のごあいさつ

秋田県知事 佐竹 敬久

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、晴れや
かな新年をお迎えのことと、心よ
りお慶び申し上げます。昨年は、

商工会の原点である巡回活動の強
化・充実に加え、全県商工会が一
堂に会して県内各地のグルメや伝
統文化・芸能を広くPRする「全
県商工会おもてなしまつり」の開
催など、県民から大いに注目され
た年でありました。

さて、国内経済は、世界的な景
気の減速等を背景に、個人消費や
設備投資等の動きが落ち込んでお
り、先行きについて不透明感が高
まっています。

本県経済においても、総じて円
高や海外需要の減少などの影響を
受けているほか、雇用面において
も製造業の拠点再編等の影響が現
れており、依然として厳しい状況
が続いております。

県としましては、こうした現状
を踏まえ、公共事業の追加や離職
者の就労支援などの緊急的な経
済・雇用対策により、雇用の維持・
創出に取り組みとともに、引き続
き新エネルギーの導入促進や関連
産業の創出・育成、新たなリーディ

ング産業の育成、空港・港湾・高
速道路などのインフラ整備による
物流機能の強化といった秋田の成
長に必要な施策についても、全力
で取り組んでまいります。

また、今年度は本県が対象エリア
となつて、国内最大規模の観光
キャンペーンである「デステイ
ネーションキャンペーン」が実施
されます。県としまして、同キャ
ンペーンのキヤッチコピー「あき
たにしました。」と皆様に言つて
いただけるよう、精一杯の「おも
てなし」の心で、官民一体となつ
たキャンペーンを展開してまいり
ますので、ご理解とご協力をお願
い申し上げます。

商工会並びに商工会連合会にお
かれましては、今後とも地域で頑
張っておられる企業・事業者への
きめ細かな経営支援サービスにご
尽力いたたくとともに、地域の活
性化に先導的な役割を果たしてい
た、たくよう心から期待しておりま
す。

終わりに、会員の皆様の益々の
ご活躍と県内の商工会並びに秋田
県商工会連合会の更なる飛躍をご
祈念申し上げます、新年のご挨拶とい
たします。



年頭にあたって

全国商工会連合会

会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうございませう。平成二十五年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経済全般を見ると、長引くデフレや円高、先行きが極めて不透明な世界景気の影響を受け、景気が減速感を強めるなか、特に、地方の中小・小規模企業にとっては、大手製造業の工場閉鎖や生産拠点の海外移転による産業空洞化の進展、中小企業金融円滑化法終了の影響による資金繰りの悪化懸念などにより、先の見えない、厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか、昨年十一月に開催した第五十二回商工会全国大会では、東日本大震災被災地への継続的な支援はもちろんのこと、まずは、本格的な景気回復を第一に、疲弊を極める地方や、地域を支えている小規模企業に活力を与え、また、全国隅々まで波及効果の行きわたる、大型の景気対策を断行するよう政府に強く要望することを決議したところであります。

一方で、我々商工会が、地域の再生にあたり、今後も中核的な役割を果たしていくため、自らがドラスティックに改革を推し進めていくことを、今こそ、強く決意す

る必要があります。

現在、我々商工会は「行きます聞きます提案します」の合言葉のもと、小規模企業に対する巡回訪問の徹底と、地域コミュニティを守る役割の強化に、全組織を挙げて一丸となつて取り組んでおります。

今後はさらに、新たな事業展開や販路の新規開拓、あるいは地域の活性化などにつながる「提案力」に一層磨きをかけ、地域や小規模企業の期待に応えることができるよう、我々も常に前進していかねばなりません。

昨年の全国大会のスローガンは「小規模企業が主役の日本へ」でした。

このスローガンを達成するためには「地域の主役」である我々商工会が、支援機能や組織力の強化に全力で取り組んでいくとともに、かねてから要望している「小規模企業基本法(仮称)」の早期制定に向け、一致団結して声をあげていくことが求められております。引き続き、皆様の一層の支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

秋田県商工会青年部連合会

会長 佐藤 慶太

皆様新年あけましておめでとうございます。

日頃より、皆様には青年部活動へのご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、県青連事業としては、四十五回を迎えた全県野球大会や、移動県青連の開催など、多くの事業を行うことができました。

特に、県青連創立四十五周年記念事業として県北、県央、県南の三カ所で開催した移動県青連は、私にとりまして、各単会の青年部員と膝を交えて意見交換をする初めての取り組みであり、青年部活動に対する要望や意見、また、各地域経済の厳しい状況を知るうえで貴重な経験となると同時に、青年部活動のあり方が問われているのだと感じました。青年部宣言文の一文に『地域振興発展の先駆者になる』とありますが、青年部員は、その前に経済人であり後継者であります。まずは、自分の家業を安定

させる事が第一であり、それが地域の発展に繋がります。故に青年部活動は自身のでなければなりません。この目的を達成するため、県青連としても経営革新認定や、経営スキル習得に資する事業をこれまで以上に推進してまいります。また、本年は、県内で活動する各青年団体と連携し、経済活動をする者同士の効率的で実現可能な活動に結びつけるため、秋田県青年団体連絡協議会を設立し、閉塞感漂うこの秋田県に、新たな風を起すべく積極的に取り組んでまいります。

私の秋田県商工会青年部連合会会長としての任期もあと数カ月となりましたが、今まで皆様に支えて頂いたことへの感謝の思いも込めまして、残りの期間精一杯努めさせていただきます。どうぞ本年も青年部活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

謹賀新年

秋田県商工会連合会

会長

村岡 淑郎 (由利本荘市)

副会長

木村 友勝 (河辺雄和)

近藤 道哲 (美郷町)

金子 芳継 (三種町)

専務理事

松橋 彰雄 (員外)

理事

柳澤 隆次 (かづの)

伊藤 公夫 (北秋田市)

菊池 博 (大館北秋)

大森三四郎 (白神八峰)

加藤 義光 (男鹿市)

加藤 政光 (湖東3町)

佐藤 作内 (にかほ市)

千葉 正登 (仙北市)

高貝 芳彦 (大仙市)

遠藤 芳徳 (よこて市)

上坂憲一郎 (ゆざわ小町)

東海林啓太 (羽後町)

佐藤 慶太 (県青連)

菊池 カツ (県女性連)

監事

佐藤 真二 (上小阿仁村)

藤原 幸雄 (潟上市)

鈴木 國男 (東成瀬村)

事務局職員一同



新春のごあいさつ

秋田県商工会女性部連合会
会長 菊地カズ

新年あけましておめでと
うございます。

皆様におかれましては、
お健やかに新年をお迎えの
ことと、心よりお慶び申し
上げます。

昨年は県女性連創立四十
五年の節目の年にあたり、
これまでにご指導ご支援い
ただきました諸先輩方はは
じめ皆様に対しまして、改
めて感謝と敬意を表する次
第であります。

さて、昨年を振り返ります
と、五月の県女性連総会に
おいて、和田前会長から会
長職を引き継ぎ、その重責
に不安と緊張の連続であり
ましたが、皆様の温かいご協
力を得て、すべて計画通りに
遂行することが出来ました。

中でも、「おもてなし隊工
コ活動」は私たちのシンボ
ル的な事業にまで成長し、
昨年は夏場の節電対策とし
て、全県の女性部員が「緑
のカーテン運動」に取り組み
エコ活動の輪が全県各地
に広がりを見せております。

また、ペットボトルの工
コキャップ回収運動では、
部員一人ひとりが環境に配

慮した取り組みを実践して
いくことで、よりよい社会
づくりに貢献しようとい
う意識が年々高まっており
年間約百三十万個のキャッ
プ（ポリオワクチン約千六
百人分）の回収実績を上げ
ることができました。

今年、秋田県を全国に
PRする大型観光キャン
ペーンがござります。私た
ち女性部も地域の盛り上げ
役として、県内各地の魅力
やあたたかい「おもてなし」
をアピールし、秋田県への
リピーターづくりに貢献し
たいと考えております。そ
して、このキャンペーンが
観光だけにとどまらず、地
域経済への波及効果につな
がるよう女性部員として出
来ることを全力で取り組ん
でまいりますので、引き続
き、皆様の一層のご理解と
ご指導を賜りますようお願い
い申し上げます。

終わりに今年も皆さまの
ご商売が益々繁栄されます
よう、併せて皆さまにとって
健康で明るい一年でありま
すよう心よりお祈り申し上
げ、新春の挨拶といたします。

健康で明るい一年でありま
すよう心よりお祈り申し上
げ、新春の挨拶といたします。

移動県連開催

県内三地区において「移動県連」が
開催され、県内各地から商工会役員等
延べ百八十五名が参加しました。

この「移動県連」は、昨年度から行
われているもので、県連合会の正副会
長等が県内各地に出向き、商工会の
方々との意見交換を通じて、事業者や
地域の状況を正確に把握することを目
的としております。

今年度は、「秋田県観光キャンペーンを契機とした広域観光振興」をテー
マにパネルディスカッションを行い、
コーディネーターにMSコンサルティン
グ佐瀬道則氏、アドバイザーに県地域振
興局観光担当、パネリストに各地区商
工会代表者により、県の政策や各パネ
リストの立場からの観光振興につい
て、活発な意見が取り交わされました。



県北地区会場 中央地区会場 県南地区会場

商工会長並びに商工会役員セミナー

同セミナーは商工会役
員が商工会運営に必要な
知識を習得するために行
われるもので、秋田県商
工会大会に先立ち、社団
法人 日本観光振興協会
見並陽一理事長が「大
型観光キャンペーンを契
機とした観光振興につい
て」と題し講演を行いま
した。

講演では、これからの
観光は、滞在型の広域観
光ルートの開発が重要で
あることを述べ、



日本観光振興協会
見並理事長

あり、「①観光資源の棚
卸し」「②ポジティブな
地域ブランドづくり」「③
物語（ストーリー）」を
作り上げ、DCを一過性
のキャンペーンにしない
ために継続してお越し
ただける観光ブランド
「秋田」の創造の必要性
について語って
いた

地域経済活性化秋田県商工会大会

平成二十四年十一月五日、秋田キャッスルホ
テルで、来賓・商工会役員約百六十名が出席し
「商工会力で企業と地域の未来支援」をスロー
ガンに地域経済活性化秋田県商工会大会を開催
しました。

大会では、「地域経済の振興及び活性化策を
拡充・強化すること」「中小・小規模企業の育
成及び安定化に向けた環境を整備すること」「県
内企業や地域経済に十分に配慮
した税制措置を講ずること」の
三点を採択し、全県会員・青年
部・女性部一万六千人の総力を
結集し中小企業の振興発展のた
めに組織一丸となって取組んで
いく決意を新たにしました。



第五十二回商工会全国大会

平成二十四年十一月二十二
日、東京のNHKホールにおい
て、「第五十二回商工会全国大
会」が開催され、全国から約三
千名、本県からは四十三名の商
工会長等が参加しました。



大会では、「小規模企業が主
役の日本へ日本経済の真の復活を目指して
く」をスローガンに掲げ、
I 大型の景気対策の実行、中小・小規模企業対策の強化
II 東日本大震災被災地への支援及び原発事故
の早期収拾
III 中小・小規模企業のための金融・税制・労
働対策等の実施
IV 地域コミュニティ維持活動等の推進・強化
「まちづくり」への支援
の四項目を大会決議として採択しました。

平成24年度 秋の叙勲 (敬称略)

- ◆瑞宝小綬章
佐藤正夫
(羽後町商工会員)
- ◆旭日双光章
佐藤祥二
(秋田県商工会連合会前副会長)
- 阿部恭子
(かづの商工会員)
- 須貝忠平
(由利本荘市商工会員)
- ◆瑞宝双光章
高橋久
(由利本荘市商工会員)
- ◆旭日单光章
加藤久孝
(大仙市商工会理事)
- ◆瑞宝单光章
伊藤博氏
(仙北市商工会員)
- 鈴木清綱
(羽後町商工会理事)
- ◆藍綬褒章
菅原悦蔵
(男鹿市商工会総代)
- 佐藤福蔵
(大仙市商工会員)

新商工会長の横顔

平成二十四年十一月以降、新たに県内商工会の会長に就任された方を紹介いたします。



藤里町商工会
安部 薫氏
(八十二歳)
安部生花店
(小売業)

【抱負】新年あけましておめでとうございます。

任期半ばでの会長就任となりました安部です。藤里町は今年、町制施行五十周年目、そして白神山地も世界遺産登録二十周年目の大きな節目の年であります。町と協力しながら両周年事業を進めていかなければと思っているところで、小さな商工会ではありますが、会員一同協力し合い地域の活性化に向け一生懸命頑張つて参りますので、関係各位のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。

秋田県知事との懇談会を開催

平成二十四年十二月十日、秋田ビューホテルで秋田県知事との懇談会が開催され、県からは佐竹知事をはじめ、関根産業労働部長、岩澤産業政策課長、商工会関係では村岡会長以下全県の商工会長が出席し、意見交換が行われました。

懇談会では、はじめに、商工会の地域貢献計画の実績について三平事務局長が報告し、続いて、県北・中央・県南の各地域対策委員会で見集約された課題等について、金子副会長(三種町商工会長)、木村副会長(河辺雄和商工会長)、近藤副会長(美郷町商工会長)からそれぞれ報告された後、佐竹知事とそれらの課題への対応について積極的な意見交換が行われました。



第五十二回商工会全国大会表彰

一、経営改善普及事業に関する功労者等表彰

(一)中小企業庁長官表彰

【優良青年部】

由利本荘市商工会青年部

【優良女性部】

藤里町商工会女性部

【女性部功労者】

仙北市商工会

女性部長

井上好子

【優良常勤役職員】

秋田県商工会連合会

商工会指導員

二田良英

にかほ市商工会

経営指導員

柴田雅裕

(二)全国商工会連合会会長表彰

【優良青年部】

男鹿市商工会青年部

河辺雄和商工会青年部

羽後町商工会青年部

【優良女性部】

大仙市商工会女性部

潟上市商工会女性部

湖東3町商工会女性部

【役員功労者】

かづの商工会

理事

副会長

男鹿市商工会

理事

副会長

八幡春三

三浦勝則

嵯峨祥夫

菅原一

斎藤豊司

渡辺誠一

今村恒夫

今野恵一

西村隆作

藤谷文善

熊谷正治

高橋洋二

伊藤慶太

佐藤裕樹

後藤和子

安井恵子

河辺永澤

女性部長

東成瀬邦子

女性部長

谷藤芳雄

女性部長

ゆざわ小町商工会

経営指導員

藤原清造

秋田県商工会連合会

高橋芳雄

にかほ市商工会

経営指導員

草薨義和

秋田県商工会連合会

堀内勝彦

専門経営指導員

須藤美子

にかほ市商工会

経営支援員

三種町商工会

【コミュニケーション維持活動強化】

事業推進優良商工会等表彰

三種町商工会

【コミュニケーション維持活動強化】

三種町商工会

県内商工会の地域貢献事業紹介

大館北秋商工会（県北地区）

事業名 「ゼロダテプロジェクト」との連携による「秋田DC」に向けたイベントの構築事業

1 事業の内容

アートで街おこしを行っているゼロダテと連携し、「秋田DC」に向けてイベントの事業構築することを目的に実施。

具体的な事業内容は、アート集団のゼロダテとタッグを組み、街おこしのツールとしての街歩きの参加者を募集し、街歩きをしてもらいます。街にあるアートや人々と交流して感じたものを写真で撮ってもらい、その時点での情報（画像を含む）をツイッターやフェイスブック等で情報発信します。写真をデータしてもらい地域のアート展（写真展）を開催しその情報を発信します。写真データをマップ等に入れて、どこにあるのか、どこにその人がいるのかを示し、また来ていただくことで交流人口の増加を図ります。

2 事業の効果

これからの展開がキーとはなりますが、情報発信のツールとしてこのようなイベントを開催することで交流人口が増加し地域を活性化していくものと考えます。今までの事業は、自分たちの視点で事業展開していたようなものが多かったが、外部の力を借りることで新たな地域の魅力を発見でき、地域の方々との交流はおもてなしの心の醸成につながるものと考えます。数値的な視点で事業を行うことが必要な時代ではありますが、それだけではない地域の雰囲気や伝え、人と交流できるように事業を実施していきたいと考えます。



潟上市商工会（中央地区）

事業名 潟上ツーリズム

1 事業の内容

潟上市の観光は、県都秋田市や男鹿半島への〔通過型観光〕という実情にあります。

その一方、「グリーンランド」「ブルーメッセ」「ブルーホール」のそれぞれに特徴ある観光3拠点（通称「1G2B」）を有していることから、商工会ではこの市内観光3拠点を“潟上観光の玄関口”と位置づけ、これら施設の魅力を徹底的にアピールし市外からの誘客を促進するとともに、3拠点間を巡る仕掛けづくりを行なうことで市街地（街なか）への交流人口を創出する〔滞留型観光〕を目指し以下の事業に取り組んでいます。

- (1) **スタンプラリー** … 3拠点ならではの旬をコンセプトとした「スタンプラリー」を実施中です。併せて潟上の旬な情報をふんだんに発信することで市全域での楽しみを演出し、来訪者はラリーへの参加を契機として市街地（街なか）へ回遊する仕掛けづくりを行っています。
- (2) **モニターツアー** … “3拠点の魅力”と“潟上の旬”をバックにした「モニターツアー」を企画し、それぞれが持つ魅力の検証を通じて、潟上での〔滞留型観光〕に必要なコンテンツ収集を行っています。定員の10倍を超す申し込みがありました！
- (3) **おもてなしの心醸成（C1）事業** … “おもてなしマーク”をデザインし、3拠点スタッフ全員が身につけることで「おもてなし」への取り組みを外向けにアピールするほか、従業員への意識付けによりおもてなし品質の向上に取り組んでいます。

2 事業の効果

本事業では点から線へ、そして面へと進化する取り組みで「2年間で“誘客数を110%にする”を目標にしており、特に初年度誘客数目標を3,000名としています。



◀スタンプラリー第一弾「秋の彩りキャンペーン」



◀おもてなしマークデザイン

美郷町商工会（県南地区）

事業名 地域賑わい創出支援事業「みんな大好き 美郷ちゃん祭」

1 事業の内容

長引く景気低迷に加えて、昨年の東日本大震災により厳しい経済状況で推移してきています。町内業者もその影響を受け、更に中心商店街は求心力が薄れて活気に欠け交流人口も見込めないような状況におちいています。そこで、元気のある地域づくりのため、行政機関である美郷町が推進する地販地消・地産外消を中心に美郷の地域資源を最大限に活用して美郷町内業者及びFOODPROあきたに所属する会員、また、近隣の新ご当地グルメが一体となって「物産・食・観光の祭典」を催し、町外へ「美郷町」を広くPRすると共に美郷町内への交流人口の増加と地域活性化を図ることを目的に開催しました。

2 事業の効果

当日は大変な猛暑にもかかわらず、町内及びFOODPROあきた会員16業者の出展のもと町内外から3,000人の来場者があり盛況に開催されました。

アクセス面や駐車場などの課題もありましたが、町中心部での開催により中心商店街の認知や集客など活性化に一役かったものと思われます。また観光協会や産直グループ「美郷マルシェ」などとの共催ができたことは今後「地販地消・地産外消」及び「美郷町」をPRするための事業協力の基盤づくりの一歩ともなりました。



商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様をご紹介します。

大館北秋商工会

企業名：大館リホームセンター
代表者名：畠山 喜美雄
所在地：〒018-5722
大館市比内町中野字五日市袋106-2
連絡先：携帯 090-3200-5853
新会員から一言：大切な住まいを50年-100年-150年、もっと先も住み続けられるようお手伝いさせていただきたくリホーム事業を始めま

した。開運招福門松の製作も承っております。都会で住宅建設などを手掛けてまいりましたが、当地に帰ってまいりました。皆さまが安心して暮らせるようご相談を承りますのでよろしくお願いたします。



潟上市商工会

企業名：コタッキーファーム
代表者名：小瀧 正志
所在地：〒018-1502
潟上市飯田川下虻川字土場向86
連絡先：TEL・FAX 018-877-5551
E-mail m-kotaki@nxyzbb.ne.jp
新会員から一言：昨春、地元の市役所を早期退職し、野菜の水耕栽培を行っております。無農

薬のリーフレタスをメインとし、小松菜やケールなどを栽培し、近くの直売所やスーパー等に出荷しております。



美郷町商工会

企業名：セブーンイレブン 六郷バイパス店
代表者名：進藤 博文
所在地：〒019-1400
仙北郡美郷町六郷字白山19-3
連絡先：TEL・FAX 0187-84-3070
新会員から一言：県内初のセブーンイレブン1号店として国道13号線白山交差点に5月にオープン致しました。毎週のように新商品を発売

し、近くで便利で暮らしのライフラインとして感動するコンビニエンスストアを目指しておりますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



店舗機能を生かして売上に繋げよう！

秋田県商工会連合会 嘱託専門指導員 後 閑 和 子 氏 寄稿

売上が上がらない、という声をよく聞きます。今回は特に小売業の売上向上のために、店舗の働きを良く知ろう、ということをお伝えします。

店舗には様々な機能(働き)があることをご存知ですか？実は、この機能を理解して「買い場」づくりを行おうということなのです。「売り場」でなく、お客様にとっての「買いやすい場」という発想が大事です。

まず最初は、①存在訴求機能：お店がそこにあることにお客様から気付いて興味・関心をもらうことが大事。そして、入りたい気持ちにさせることがポイントになります。そのためには、店舗の外観や店頭・看板に工夫が必要です。②誘導機能：店舗に実際に入ってもらうことが大事。入らなければ売上に繋がりません。ここでの注意ポイントは、明るくきれいな店頭(乱雑に入口に物を置かない)や店舗の中の見通しが良いこと、入口が入りやすい等がポイント。③巡回機能：店舗内をできるだけ長く・奥に歩いてもらうこと。ここで大切になるのが、レイアウト・マグネットポイント・照明等です。マグネットポイントはお客様を引き付ける売り場という意味で、店奥の角・ Gondola エンド・主通路の両側を効果的に配置する必要があります。④展示選択機能：商品を見て手に取って選んでもらうこと。ここでは、陳列・ゴールデンゾーンやPOPが重要な働きをします。陳列の原則は「見やすい」「取りやすい・戻しやす

い」「選びやすい」です。「見やすい」では、ゴールデンゾーンを確認します。明確な規定はないのですが、ゴールデンゾーンは通常床から80~140cmといわれており、(腰から胸の高さ)このゾーンは視認性が高いので店舗が売りたい商品(新商品・お勧め商品等)を陳列します。高齢者の方対象にはもっと低い高さですね。2点目の「取りやすい・戻しやすい」は、手に取る際、商品を戻す時、簡単にできることが大事。書店で本がぎっしり詰まり取り出しづらいことがないように、指1本ぐらいい隙間を作ります。「選びやすい」は商品を比較しやすいこと・探しやすいことが大事。お客様の利用シーンやライフスタイルなどで商品をグルーピングして陳列してみませんか。また、POPは、販売時点広告といい、「もの言わぬ販売員」といわれるくらい有効です。お客様は店頭で何を購入しようか決めていない人が80%もいるといわれており、このPOPを効果的に使うと購買意欲の向上に繋がります。POPを作成する際は、文字の形・大きさ・色等の統一、文字の色は3~4色までに抑える、文字の大きさにメリハリをつける、などに注意しましょう。また、取り付ける場合は、統一した位置につけます。⑤購買機能：お客様に買っていただくこと。販売員の位置・接客、レジ位置やコミュニテースペース等がポイントです。高齢化進展のおり、店奥にテーブルとイスを置いて、お客様と会話を交わすことは、客単価アップに繋がります。

皆様の大事な店舗を再度見直しませんか？



「きりたんぽ発祥の地」を 提唱し続けて33年!

郷土料理を通して鹿角の食材の深さと食文化の歴史的背景を味わっていただく

■ サロン・ド・割烹 美ふじ 加藤 照子



人が好き。鹿角が好き。

加藤照子さんは、鹿角市花輪で郷土料理のお店「サロン・ド・割烹 美ふじ」を営んでいます。また、かづの商工会女性部長としてご活躍。今年度の主張発表東北・北海道ブロック大会にて秋田県代表として出場いたしました。

きりたんぽ、 そして鹿角に対する思い

加藤さんは東京に在住していた昭和55年、ご両親の体調不良をきっかけに父が元気になってくれたらという思いから夫の理解と協力のもと、鹿角市へ戻り「美ふじ」を引き継ぎ経営している。東京に月に1度帰る生活が続いている中、ふと加藤さんが思ったことが「きりたんぽ」は知られているものの故郷鹿角については知名度が低く、加藤さんは鹿角は「きりたんぽ発祥の地」ということを全国に発信したいという思いから、偶然美容室で手に取った「家庭画報」の記事を見たことから応募を決意した。1度は落選したものの、1993年11月号「私流・ご自慢ディナー料理」部門にて自身が考案した「うなぎいりきりたんぽ」で念願の準大賞を受賞し掲載された。この後も1999年8月号では「内田繁賞」を受賞するなど、「私の故郷鹿角市はきりたんぽ発祥の地です。」この言葉を伝えたい一心で応募を続けた。縁もでき2007年12月号では「全国うまいもの鍋」の特集にてきりたんぽについて取材を受けられるほどになりました。現在も各メディアに取り上げて頂き、きりたんぽ発祥の地鹿角を全国へ発信しております。

地域貢献、地元商店街の 活性化への取組み

加藤さんは様々な地域貢献事業へ参加しており、十和田商工会(現かづの商工会)の古代米開発委員への参加協力や、有志で構成する「きりたんぽ倶楽部」などの活動で地域貢献しております。きりたんぽ倶楽部は、「全国きりたんぽ選手権」から現在では「きりたんぽ協議会」へと成長し今年で8年目を迎えた鹿角市のイベント「きりたんぽ発祥祭り」(11月上旬開催)へと至っております。また、地元商店街の活性化へも尽力し、先日行なわれた鹿角市の街バル「AKBAI(エーケーバル)」に出店参加し地元商店街の賑わいづくりへ貢献しております。

来年2月には鹿角市で第68回国民体育大会スキー競技会が開催されます。「きりたんぽでおもてなしを」と加藤さんが発起人となり「きりたんぽ通り実行委員会」を発足し、歓迎特別企画「きりたんぽ通り」を計画しています。きりたんぽ通りとは、きりたんぽ発祥の地鹿角において、ふらっと一杯と立ち寄ったお店できりたんぽの料理が出たらとても喜ばれるのではないかと。そんな思いから地元商店街にある飲食店が連携し、飲食店が立ち並び裏通りをきりたんぽ通りにしようと誕生しました。それぞれの店舗でオリジナルのきりたんぽ料理を用意し、鹿角にきた記念になるようなきりたんぽ料理を提供することが目的です。

しこっ魂(しこったま) きりたんぽの里プロジェクト

本市鹿角は東北・秋田県内でも有数の良質米生産地域となっており、また他地域では珍しい米の品種である「淡雪こまち」の生産にも精力的に取り組むなど、米に関

連する商品の需要拡大と、米粉の商品化の増進と定着化・安定化を図ることを目的に「鹿角ブランドアップ戦略」の一環としてかづの商工会では「米粉プロジェクト」を実施しております。加藤さんも「鹿角市の美味しいお米やお米の商品が全国へ発信するお手伝いができれば。またこのプロジェクトを通じて鹿角市を全国にアピールできたら幸いです。」と本プロジェクトに参加しております。

最後に

鹿角市外や秋田県外のお客様がいらしたとき、地場の食材でおもてなしするのが、なによりのご馳走ではないかなと思っております。先人が考え出してくれた「きりたんぽ」は、どんな調理法にも応えてくれるうれしい食材です。ぜひ、鹿角市へいらした際は「サロン・ド・割烹 美ふじ」へお立ち寄り下さい。最高のおもてなしをご提供いたします。



サロン・ド・割烹 美ふじ

〒018-5201 鹿角市花輪字下花輪155
TEL 0186-23-5771
FAX 0186-23-3958
URL <http://www.kiritanpo.net/>
来店の際は予めご連絡願います。

「創業塾」開講 受講生募集!

～あなたの経験と技術を活かして、創業の一步を踏み出しませんか～

独立開業を目指す方を対象に、経営とは?からビジネスアイデア発想法、そして受講者個々の開業・開店プランの作成を専門コンサルタントが指導します。

- ◎ 開催日程 平成25年1月30日・31日・2月1日の全3回
時間はいずれも13:30～16:30(最終日は13:30～17:30)
- ◎ 会場 由利本荘市商工会 西目支所(由利本荘市西目町沼田字新道下2-535)
- ◎ 定員 10名
- ◎ 受講料 3,000円

お問い合わせは最寄りの商工会または秋田県商工連合会(TEL018-863-8495まで)